

やくばらじし
役原獅子

★役原獅子とは？

尻高の役原地区に伝承され、毎年8月27日に1番近い日曜日、役原城跡の北側の山根に祀られる「諏訪神社」「浅間神社」に奉納している獅子舞です。太鼓を持った獅子と鼈を持ったシャブマの3組が、頭の叩く太鼓や笛吹き等の笛に合わせて踊ります。以前は家を継ぐ長男のみに演者資格がありましたが、現在では少子化の影響により、前記の資格に限らず、役原地区内の小中学生が演じています。

室町時代に役原付近を支配していた尻高氏が、信州の諏訪神社を勧請し、その祭典に伝わる遠州流獅子舞を招いて住民に教えたのが始まりと伝えられていますが、口伝のため諸説あるようです。

★「獅子舞」って何？

獅子舞は日本で最も数の多い民俗芸能と言われるほど、全国各地に分布し、多くが神社仏閣の祭事で五穀豊穡や天下太平、悪疫退散の祈りを込めて舞われます。各地区各獅子舞毎に内容の差異はありますが、演技系統として大きく、以下の2つに分けられます。

- ・ 2人立ち…2人以上で獅子を演じます。西日本に多く、奈良時代に外来した伎楽等から派生したと考えられています。
- ・ 1人立ち…1人で獅子を演じます。

東日本に多く、室町時代以降に土着の民芸を基に派生したと考えられています。

現存の役原獅子は「1人立ち」の「3匹(3頭)獅子舞」に分類されると考えられます。

★役原獅子の奉納スケジュール

●前日

・ 役原の氏子世帯を毎戸回る悪魔ばれえ(悪魔払い)を行った後、公民館の庭先でブツォレエ(獅子舞の練習成果を披露するリハーサル)を行います。

●当日

- ①七道…諏訪・浅間両神社の周りを7回り、厄払いをします。
- ②神社の祭典
- ③役原獅子…神社の1段下に設けられている「庭」で奉納します。

★役原獅子の曲目

祓い清める曲→悪魔を調伏する曲→神を慰め楽しませる曲→お祝いの曲など

これらを前庭で約40分、後庭で約30分演じます。昔はこの2つの間に「ひょっとこ」と「おかめ」の面をつけた2人が踊りつないでいたようです。

★時代による変化

役原獅子に限らず村内祭典が、昨年、今年と新型コロナウイルス感染症の影



響により中止を余儀なくされています。このような一時的な中断は昨今に限ったことではありません。役原獅子は1580年の役原戦火や、1783年の浅間山噴火等によっても、一時途絶えましたが、先人達の思いによりやがて再興へ導き、現在に残っているのです。その際に演目形式・構成の変更もあったかもしれません。伝えられている内容の他、時代背景や他市町村の獅子舞との比較などから、過去の形式を想像するのも面白いですね。

パンデミックが収束したあかつきには、ぜひ見に行ってみましょう。

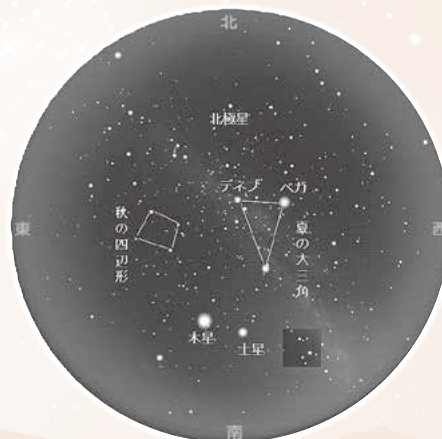
※参考文献

- 『たかやまの文化財』高山村教育委員会事務局/編、高山村教育委員会/発行、2018.3.30改訂版
- 『高山の地名』高山村教育委員会事務局/編、高山村教育委員会/発行、1998.3.30
- 『高山の歳時記』高山村教育委員会事務局/編、高山村教育委員会/発行、2003.3.30
- 笹原亮二『三匹獅子舞の分布』国立民族学博物館研究報告26(2),171-236、2001
- 飯塚好『三頭立て獅子舞 歴史と伝承』(株)おうふう、2013.6.10
- 萩原進『群馬の郷土芸能(下)』みやま文庫、1994.3.10

9月の星空

○星図の説明

15日午後9時の星空です。
月初めの午後10時頃、月末の午後8時頃にも同じ星空になります(「月」を除く)。
※21日が満月(中秋の名月)です。





※詳しくは9ページをご覧ください。



わが家のアイドル

※わが家のアイドル(6カ月～4歳未満)を常時募集しています。掲載を希望される保護者の方は、役場地域振興課へお電話をください。お待ちしております。☎26-7944(直通)



戸室 福原 萌海さん(2歳)

わたしの名前は「もあ」です。パパの好きな「萌」の字と、お兄ちゃんの名前に付いている「空」かお姉ちゃんの名前に付いている「海」か考えた結果、女の子なのでお姉ちゃんと同じ「海」の字をつけて「萌海」と名付けられました。お姉ちゃんのマネをしていつも遊びます。メルちゃんの人形でのごっこ遊びをするのがブームです！大好きな食べ物はサラダと納豆！特に「納豆」のワードを聞くと食べたさあまって怒り始めてしまいます。★お歌が上手で、うたって！とリクエストするとじょうずにうたってくれます。とママ。



判形 鈴木 絃叶さん(2歳)

ぼくの名前は「げんと」です。おなかの中にいたときに、両親がふと「げん」という響きの名前がいい！と思いつき、「弦(絃)」楽器の音色のように人を惹きつける魅力ある人に、自分の夢を「叶」えられるよう努力できる人になるようにと名付けられました。外で遊ぶのが大好きで、砂・水遊びをして日に焼けて真っ黒になりました！おでかけの時や寝る時、お風呂の時など、いつも車のおもちゃと一緒にです！★とにかく元気でひょうきん者なので、いつも家族を笑わせてくれます。世話好きで食事の時など、たくさんお手伝いもしてくれます。気配りができて思いやりのある子に育って欲しいです。とママ。

先月の大沢さんに引き続き、西山大樹が今月は担当させていただきます。お盆なのに、梅雨のような雨続きで湿気が多くどんよりとした毎日です。コロナの感染者も増え続け、企画していたイベントが何個も延期になってしまい、ちょっと残念だけど前向きに受けたいかなあ。沈んだ気分です。さて7月中旬に、農業体験で一人の女性を受け入れました。高山村に以前から興味があったという彼女は、村の農家さんご協力のもと日中は農業体験をして3泊4日過ごしました。いろいろな話を聞いたりしながら、幅広い働き方があることを知ってもらえたと思います。先日も高山村を訪れてくれたみたいでつながりをつくるのができて良かったと感じています。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。



農業体験プログラムの様子



日々の活動内容を投稿しています。

ここからは自身の話をします。村の農家さんから話を聞くことや、他地域の地域おこし支援隊の話を聞いて感じることは事業にしていけないかなあということがあります。小商いにチャレンジしていくこと。大学を卒業して一般企業に就職し、緑のふるさと協力隊になった自分は、自分主体でお金を稼いでいくことを経験したことがあります。でも今後自分が生きる中で、どこかの会社に就職したとしても副業というように自分で自分がお金を生み出すなにかを作っていきたいと考えています。今になって去年お世話になった農家さんなどがどのような形で生計を立てているのかちゃんと聞けばよかったと感じています。都市部と比べ会社勤めではなく、「この人はなにをしている人なん？」という人が多いです。今後、そんな人から学んでいこうと思います。現在の予定では、9月にマルシェ開催。10月と11月に村を体験する若い人たちを受け入れます。それが終わると、私の支援隊の生活も令和5年の3月までなのでそれからの仕事について考えていく時期になるかと思っています。自分の企画をやりきって、今後の自分自身の生き方をより具体的に探っていくように思います。

こちら「地域おこし支援隊 西山大樹」